

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭63-84474

⑤ Int. Cl.

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 昭和63年(1988)4月15日

A 24 D 1/10

7329-4B

審査請求 有 発明の数 1 (全2頁)

⑭ 発明の名称 火災防止装置付タバコ

⑮ 特 願 昭61-229343

⑯ 出 願 昭61(1986)9月27日

⑰ 発 明 者	徳 田	雅 生	徳島県那賀郡鷺敷町大字阿井字杉ノ久保8番地の7
⑱ 発 明 者	味 間	昇	徳島県那賀郡鷺敷町大字和食郷字南川176番地の3
⑲ 出 願 人	徳 田	雅 生	徳島県那賀郡鷺敷町大字阿井字杉ノ久保8番地の7
⑳ 出 願 人	味 間	昇	徳島県那賀郡鷺敷町大字和食郷字南川176番地の3

明 細 書

発明の名称

1. 考案の名称

火災防止装置付タバコ

2. 特許請求の範囲

アルミ箔等の金属箔と薄紙を貼り合わせた平面体に、微小の孔を多数作り、(一部無孔部分)巻きタバコ本体に薄紙面を外側にして、点火部を一部残し、側面に添い筒状に接着剤を介して接着することを特徴とする火災防止装置。

3. 発明の詳細な説明

近年の火災原因の絶えず上位を占めるタバコ。つい消し忘れ盤を焦がしたり、寝タバコ、投げ捨て、灰皿からのこぼれ落ち等の不注意により発生する火災。また燃焼部が露出していることに起因する火傷、不特定方向に飛散落下する灰、濡れ手での喫煙時の不便さを感じる従来のタバコ。

これらの巻きタバコの本来持っている欠点の改善を計ることを目的とするものである。
この考案は、タバコ製造過程の一工程として、筒

易で廉価な火災防止面で極めて効果のあるものと考えます。

以下実施例図により、本発明の構成を説明する。

巻きタバコ(6)の側面に添い、点火部(5)の部分数を数ミリ残し、無孔部分(4)を吸い口方向にして、アルミ箔等の金属箔面(2)を内側に薄紙面(1)を外側にして、接着剤を介して接着すべく成るものである。

つぎに、実施例図により本発明の作用効果を説明する。

第一図、アルミ箔等の金属箔(2)と薄紙(1)を貼り合わせた面は、外気(酸素)との接触と他の接触物体への熱伝導率を極力抑制し、筒内での灰の蓄積との相乗効果により、点火後の喫煙進行時いかなる部分でも数分間に自然消火へと導くものである。

第二図、有孔部分(3)は適当な通気性を得て灰の飛散落下を防止し方向性を持たせるものであり、無孔部分(4)では酸素の遮断により完全に

消火でき、濡れ手でも喫煙可能で防水面の効果もある。

第三図、点火部（５）は点火時に外側の薄紙（１）への一気の点火燃焼の危険性を避けるために数ミリそのまま残すものである。

またアルミ箔等の金属箔面（２）を内側に薄紙面（１）を外側にして、喫煙進行時の筒体としての原形保持の適度な強度補強のためと、喫煙程度を外観上焦げめで判断可能にするものである。

第四図、燃焼部（７）がアルミ箔等の金属箔面（２）で包まれているので、接触時の火傷の危険性が減少する。

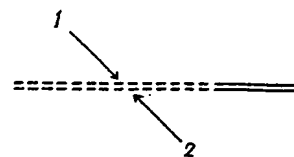
以上の様な顕著な諸効果を奏するものである。

４ 図面の簡単な説明

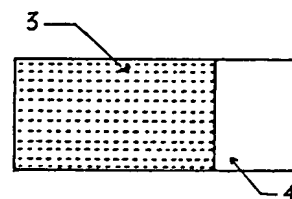
第一図は、アルミ箔等の金属箔と薄紙を貼り合わせた平面体の断面図、第二図は前記の平面図、第三図は本発明の実施例に係る巻きタバコの斜視図、第四図は喫煙時の前記の斜視図である。

特許出願人 徳田 雅生
味 間 丹

第一図



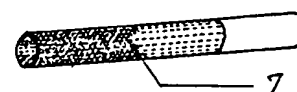
第二図



第三図



第四図



BEST AVAILABLE COPY